

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	教育用コンテンツ奨励事業		担当部局庁	生涯学習政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～		担当課室	参事官(学習情報政策担当)付		参事官 新井 孝雄		
会計区分	一般会計		施策名	I-5 ICTを活用した教育・学習の振興				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	「IT新改革戦略」(平成18年1月IT戦略本部) 「i-Japan戦略2015」(平成21年7月IT戦略本部) 「新たな情報通信技術戦略」(平成22年5月IT戦略本部)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	地域社会や学校などの教育におけるさまざまな活動の中で、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に利用されることが適当と認められる教育用コンテンツを選定し、その普及・促進を図る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)教育用コンテンツの奨励促進委員会 学識経験者等からなる委員会を組織し、教育用コンテンツの在り方や作成の奨励方法、利用の促進方法等について検討する。また、優れた既存のアナログコンテンツをデジタル化して、インターネットで全国に活用促進を図る。 (2)教育用コンテンツ審査(教育映像等審査) 教育に利用される映画・DVD・ビデオ等の教育用コンテンツについて、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に広く利用されることが適当と認められるものを選定し、広く一般に普及・促進を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	44	44	30	27	24	
		補正予算	0	0	0	-		
		繰越し等	0	0	0	-		
	計	44	44	30	27	24		
	執行額	39	37	28				
執行率(%)	88.6%	84.1%	93.3%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	本事業は教育用コンテンツの質の向上を目的としており、その質は有識者による審査で担保されているため、数値化した指標は設けていない。			成果実績	-	-	-	
	達成度		%	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	①教育用コンテンツ審査の開催回数			件	112	98	92 (-)	- (-)
	②文部科学省特別選定となった作品数			件	14	11	9 (-)	- (-)
	③文部科学省選定となった作品数			件	102	98	89 (-)	- (-)
単位当たり コスト	(128,785円/1回)		算出根拠	11,848,190円/92回 審査会支出額全体/開催回数				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	16.4百万円	15.9百万円					
	職員旅費	0.3百万円	-					
	委員等旅費	3.5百万円	2.7百万円					
	庁費	6.8百万円	5.7百万円					
	計	27百万円	24.3百万円					

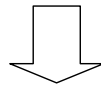
事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予算に応じて適切な執行が成されており、本事業の成果等の検証を行いつつ、政策推進上の諸課題への対応の優先度等を考慮しながら適切な予算設計を図り、さらなる施策の推進等に努める必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、教育上価値、学校教育又は社会教育に利用されることが適当と認められる教育用コンテンツを選定し、その普及・促進を図ることを目的とした事業であり、審査業務や審査に係る経費が大部分である。今回、予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業の目的の一つが教育用コンテンツの普及・促進であるが、その成果が不明確な点がある。平成22及び23年度予算において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っているが、平成24年度概算要求においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>当該事業は、教育に利用される映画・DVD・ビデオ等の教育用コンテンツについて、教育上価値が高く、学校教育又は社会教育に広く利用されることが適当と認められるものを選定し、広く一般に普及・促進を図ること等に努めているところである。</p> <p>平成24年度については、視聴覚教育メディア研修カリキュラム標準の改正検討委員会を廃止し、概算要求に▲3百万円反映した。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

文部科学省
<28百万円>

本省執行
諸謝金 14.5百万円
職員旅費 0.1百万円
委員等旅費 2.9百万円
庁費 10.4百万円

- 教育用コンテンツの奨励促進委員会
学識経験者等からなる委員会を組織し、教育用コンテンツの在り方や
作成
の奨励方法、利用の促進方法等について検討。
- 教育用コンテンツ審査(教育映像等審査)に関する業務
教育映像審査教育映像作品等について、有識者からなる教育映像
等審査会において審査を実施し、選定作品を決定。



【一般競争入札、請負】

A. ナカバヤシ(株)
東京本社
<4百万円>

〔教育の情報化に関する手引きの印刷。〕

※この他の庁費は会議費等であり、1件百万円以上のものはない。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.ナカバヤシ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	教育の情報化に関する手引きの印刷	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ナカバヤシ(株)東京本社	教育の情報化に関する手引きの印刷	4	7	-